

復活



3種混合不活化ワクチン 安全・信頼・効果、すべてがひとつに

バックスオン ND-IB-EDS

(一般的名称 ニューカッスル病・鶏伝染性気管支炎・産卵低下症候群ー
1976 混合 (油性アジュバント加) 不活化ワクチン)

バックスオンND-IB-EDS

(一般的名称 ニューカッスル病・鶏伝染性気管支炎・産卵低下症候群-1976混合
(油性アジュバント加) 不活化ワクチン)

【本質の説明又は製造方法】

本剤はニューカッスル病ウイルス Ulster 株、鶏伝染性気管支炎ウイルス M41 株及び産卵低下症候群-1976 ウイルス McFerran127 株を増殖させ、 β -プロピオラクトン及びホルマリンで不活化したウイルス液と油性アジュバントを混合し、チメロサルを加えたものである。

乳白色のやや粘稠性のある懸濁液である。

【成分及び分量】

液状不活化ワクチン 1,000羽分中

成 分		分 量
主 剤	発育鶏卵培養ニューカッスル病ウイルス Ulster 株 (不活化前ウイルス量)	10 ^{10.8} EID ₅₀ 以上
主 剤	発育鶏卵培養鶏伝染性気管支炎ウイルス M41 株 (不活化前ウイルス量)	10 ^{9.0} EID ₅₀ 以上
主 剤	発育あひる卵培養産卵低下症候群-1976 ウイルス McFerran127 株 (不活化前ウイルス量)	10 ^{9.5} EID ₅₀ 以上
アジュバント	軽質流動パラフィン	258g
乳 化 剤	モノオレイン酸ソルビタン	36g
乳 化 剤	ポリソルベート 80	4g
不 活 化 剤	ホルマリン	0.032mL 以下
保 存 剤	チメロサル	50mg
溶 剤	リン酸緩衝食塩液	残量

【効能又は効果】

ニューカッスル病、鶏伝染性気管支炎及び
産卵低下症候群-1976 の予防

【用法及び用量】

5 週齢以上の鶏 (採卵鶏及び種鶏) に、1羽当たり 0.5mL を
頸背部 (頸部中央部或いはそれより下部) の皮下に注射する。

【包装】

液状不活化ワクチン
(1ボトル 500mL 1,000羽分用) × 1本入り 1箱

【貯法】 2～10℃

詳細は弊社添付文書をご確認ください。

(製造販売)

vaxxino[®] ワクチノーバ株式会社
veterinary prevention strategies

〒105-0013 東京都港区浜松町1丁目24番8号 オリックス浜松町ビル4階
TEL: 03-6895-3710 FAX: 03-6895-3711
E-mail: contact@vaxxinova.co.jp
https://www.vaxxinova.co.jp



販売代理店

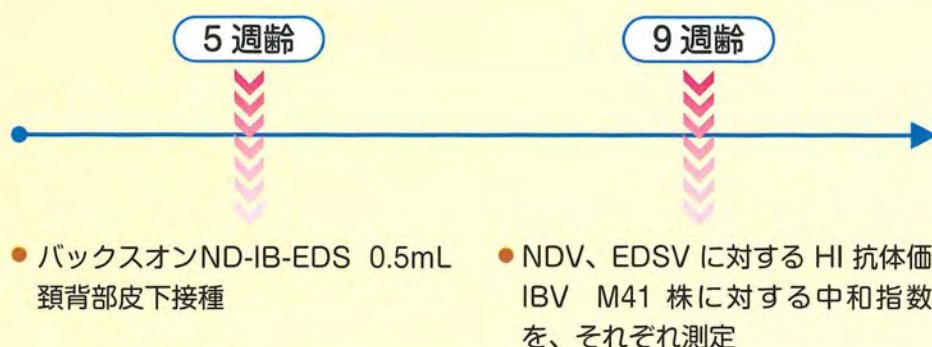
製品特徴

- 本製剤は、ニューカッスル病 (ND)、伝染性気管支炎 (IB)、産卵低下症候群 (EDS) に対する、鶏用の不活化ワクチンです。
- 不活化前のワクチン株は、ND:Ulster 株、IB:M41 株、EDS:McFerran127 株をそれぞれ使用。
- より長いワクチン効果が期待される、オイルアジュバントを使用。

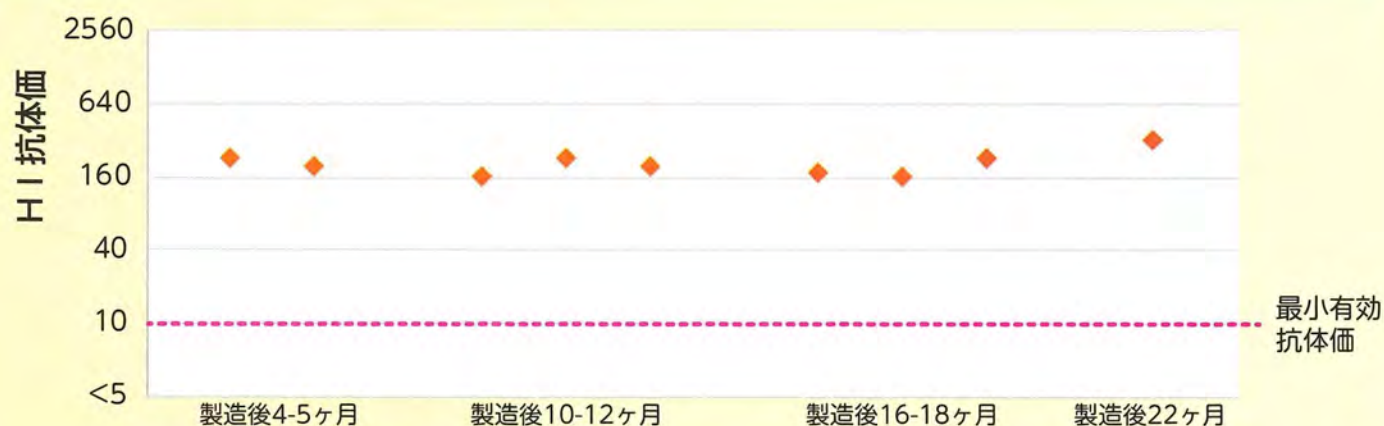
有効性

試験設定

ボックスオンND-IB-EDS
承認申請書より引用



ND-HI 試験



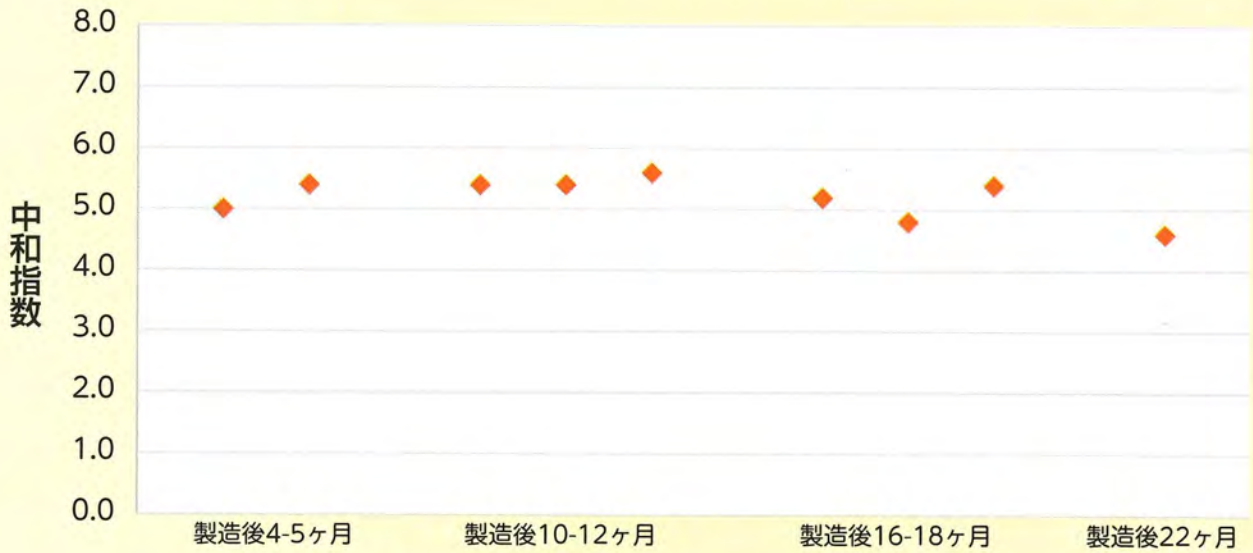
EDS-HI 試験



IB-SN 試験

M41 株に対する有効性評価として、中和指数が 2.0 を基準値とした。M41 株に対する中和指数が 1.8 以上を示す鶏であれば、IBV M41 株で攻撃した場合、気管線毛運動の停止に対して防御を示すことが判明している。

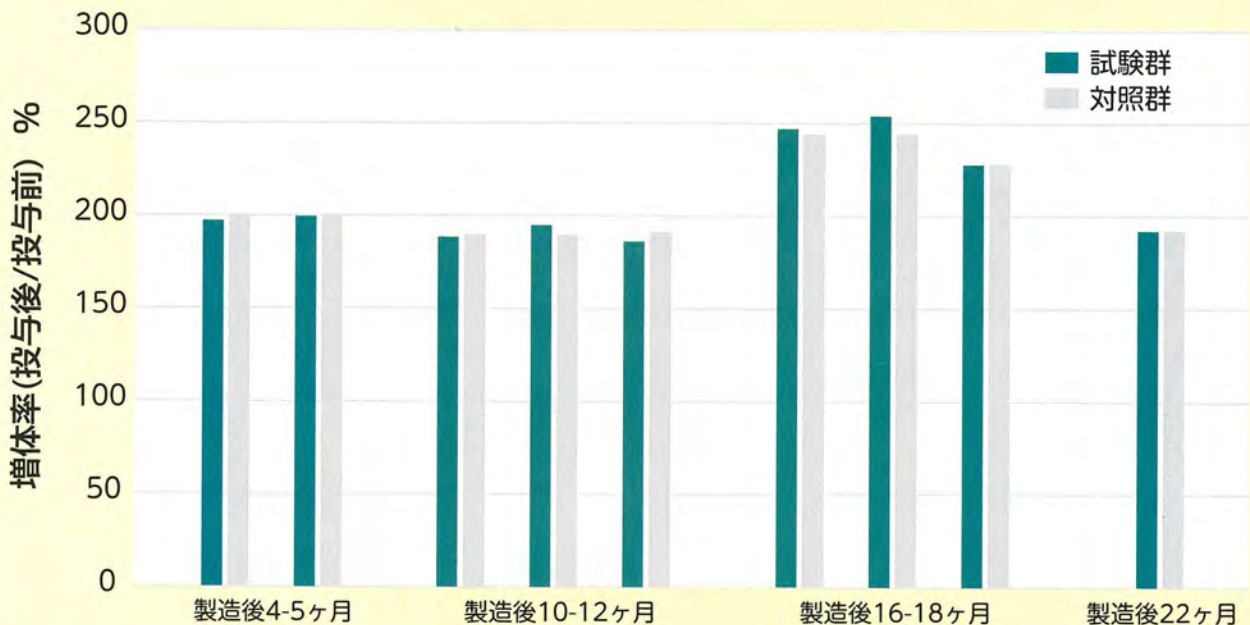
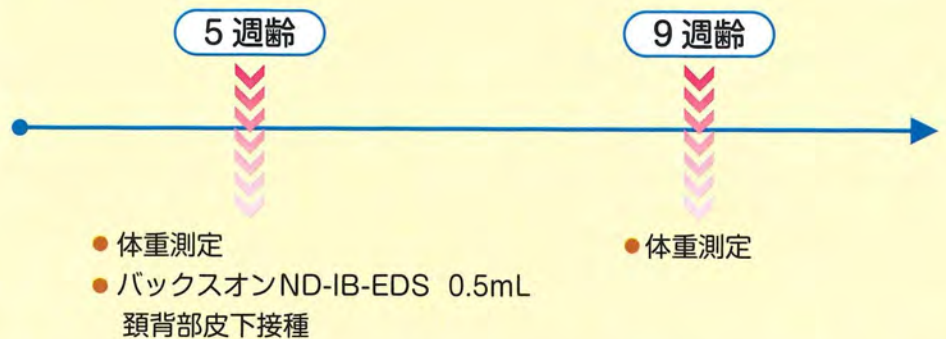
参考：タロバック NBEDS 承認申請書資料より



安全性

試験設定

ボックスオンND-IB-EDS
承認申請書より引用



- 増体率において、試験群と対照群に差は認められなかった。
- 試験期間中、どちらの群においても臨床的異常は認められず、鶏への安全性が確認された。